

SHARP

LDK+

シャープ株式会社

I-001 プロジェクトチーム

2025年10月24日



LDK+

クルマの価値の‘半歩先’

@Park at your home から

@Part of your home へ

ひとの願いの、半歩先。

SHARP

特別な一日ではない。

シャープは、ふつうの一日を見つめています。

なぜならふつうの一日こそが、その人の人生になる。

名もなき日々の中にこそ、人々のすなおな感情、胸に仕舞っていた思い、
夢や希望がたくさん詰まっていると思うからです。

ひとの願いをベースにしながら、ちょっとだけ驚きのあるものを。

意表をつくような先回りを。でも、あくまでも、ちょっとだけ。

言い換えるなら「半歩先」。

それは、小さな声がちゃんと聞こえる距離のこと。

何かがあれば手を握ることのできる、そんな立ち位置のこと。

思えば、朝起きてから夜寝るまでの、あらゆる時間に

寄りそっているシャープ。だからこそ、あなたの日常のすべてを、

半歩ずつ、しっかり未来へお連れします。

誰ひとり、取り残すことなく。



クルマの新しい価値。

クルマは保有時間の95%が停まっているだけ。
「暮らし」は絶え間なく続いているのに。

クルマは、
「暮らし」のなかで、もっとできることがある。
クルマは、
「ひとの願い」を、もっとかなえることができる。

SHARPだからこそ、半歩先の提案。

大きな成長が期待される新産業領域で、
鴻海のリソースも有効活用しつつ、特にEV・AIの事業成長を加速

シャープが取組む新産業領域：

EV

AIデータソリューション

インダストリーDX・ロボティクス

宇宙

EV

LDK+ (家の拡張空間としてのEV)の具体化を加速)



(鴻海)
EV設計・生産

AIoT機器・
サービス

エネルギー
ソリューション

AIデータセンター
ソリューション

鴻海の強みを活用した新たな事業展開を検討中



(鴻海)
AIサーバー

多様な
顧客接点

ITソリューション

：Next Innovationを推進する上での当社の強み

- EVの成長は鈍化しつつも、今後のびていく予測。とりわけ日本市場では、EV普及率は依然として低く、市場拡大に大きな余地
- 走行性能や航続距離だけでなく、ソフトウェア定義型自動車(SDV)の進化やAI,クラウドサービス連携など、新たなユーザーニーズが発生

顧客ニーズの変化

既存ニーズ

- ✓ 走行性能や加速性能
- ✓ 外観や内装のデザイン
- ✓ 燃費
- ✓ 安全性
- ✓ ブランドのステータスや信頼性

新たなニーズ

(より重要視されるポイント)

- ✓ 環境への配慮
- ✓ 快適性(エンターテインメント/インテリア)
- ✓ 利便性(ライフスタイルとの融合)
- ✓ カスタマイズ性

SHARPのEV戦略 - LDK+

鴻海開発EV



Model A

家電技術

①自然なUI

タッチ操作

音声操作

②豊富な機能

空質改善

コミュニケーション

③機器連携

AIoT

Eeeコネクト

エッジAI



✓ 素早い応答 ✓ 快適なインターフェイス

AI & SDV



① 誰でも使える車内空間

② シーンに合わせた
様々な使い方③ 家や地域とつながり、
生活をサポート

シャープがこれまで培ってきたAI、家電、エネルギー機器等の技術を結集させ、
既存OEMではできない、“シャープらしい”EVを開発し、27年度の市場参入を目指す



SHARP EV Concept **LDK+**

今回進化したポイント

昨年発表時は“止まっている時”にフォーカス

@ark at your home

今回は“もう一つの部屋”にフォーカス

@art of your home

シャープのEVコンセプト「LDK+」を、2024年9月に発表。そして、コンセプトモデル第一弾を独自イベント「SHARP Tech-Day' 24 “Innovation Showcase”」で公開し、継続的に多様なステークホルダーとのコミュニケーションを深めてきました。

@art of your home

LDK+



SHARP

コンパクトミニバンのサイズだが、車内空間にこだわり、広々とした車内レイアウト
小回りの利くボディサイズと**ゆったりと過ごせる室内空間**を両立



- 駐車時は、運転席を後ろ向きに回転させ、リビングのような車内空間へ
- プロジェクターとロール式スクリーンによるシアタールーム、リモートワークスペースの提案
- シャープのAIと鴻海のSDV融合によるスマートな車内体験
- 鴻海EV「Model A」ベースの開発

自動車業界出身のプロフェッショナルをEVプロジェクトチームに起用し、
新生“I-001プロジェクト”を始動

I-001プロジェクトチーム

事業部

×

チーフ
大津 輝章
Otsu Teruaki

×

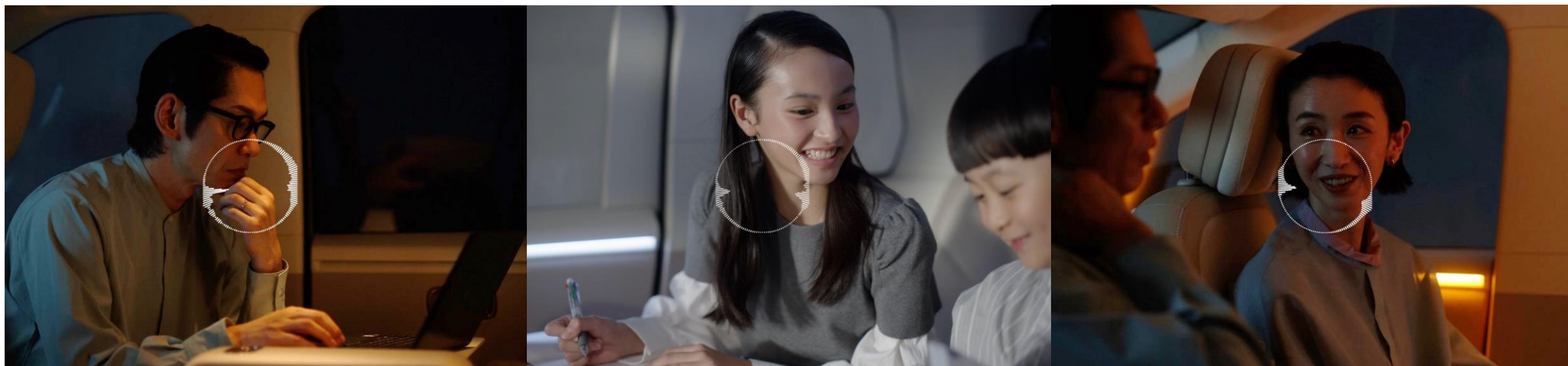
鴻海

- ・プラズマクラスター
- ・ペロブスカイト
- ・光触媒 など

自動車メーカーで20年以上のキャリアを持ち、
主に海外事業とMarketing & Sales分野に従事。
特に商品マーケティングではGlobal Chief
Marketing Managerとして世界で販売する
モデルの責任者として担当車種の販売価格の決定、
車の魅力を世に伝えることに注力。

EV事業化を加速

横断プロジェクトとして、各事業本部や鴻海と連携し、一体となって事業化に向けて加速します。



ビジネス

AIで快適かつ
集中できるリモートワーク部屋に

ファミリー・子ども

AI家庭教師でサポート

パーソナル

シアタールームとして、
リラックスして映画やドラマを楽しむ

LDK+は暮らしを豊かにする家電の一つ。シャープ技術を使って、
車も家のような快適な空間に



エアコンコントロール

- ・プラズマクラスター発生装置などで車内の空気をきれいにし、運転中も部屋として使うときも快適な環境を提供
- ・排ガスがないため、中も外もクリーンな環境を意識



エネルギー

家のエネルギーシステムとつながり、車内で家の電気が使えるうえ、太陽光発電や蓄電池と連携して、住宅全体で最適なエネルギーマネジメントを実現

コンセプトモデル「LDK+」第二弾を、
国内最大級のモビリティショー「Japan Mobility Show 2025」で初公開

Japan
Mobility
Show 2025

出展場所： 東京ビッグサイト
会 期： 10月30日(木)～11月9日(日)

[プレスデー]10月29日(水)8:00～18:00
10月30日(木)8:00～13:00



「Japan Mobility Show 2025」
シャーププレスブリーフィング

日 時：10月30日(木)9:30 ～ 9:40
場 所：当社ブース 東7ホール E7103
登壇者：専務執行役員 CTO 種谷 元隆

10月30日9:30からのシャープブースのプレスブリーフィングにて、
LDK+を実現していただく上で重要なパートナーである鴻海 関 CSOからメッセージ提供予定

Message
from an Important Partner

関 潤 氏



コンセプト発表から1年

シャープは、未来の暮らしとモビリティが融合する
新たな価値創造に取り組んでいます

ひとの願いの、半歩先。

SHARP